

みんな同じ空の下 「ジュジュ」はひびく 小さな子どもにまで届くはず 「一人ひとりの思いを込めて」

3月11日に発生した「東日本大震災」において、被害にあわれました皆さまに心よりお見舞い申しあげますとともに、犠牲になられました方々のご遺族の皆さまに對し、心から深くお悔やみ申しあげます。

マグニチュード9.0の大規模地震となった「東日本大震災」。この地震による建物倒壊や津波によって、広い地域で多くの尊い生命が失われ、家屋等財産や大切な思い出の品も全て失われました。被災地はいまだに復興の兆しもなく、避難所暮らしを余儀なくされている人が多くおられます。

被災地では食料や生活用品が不足し、十分な生活ができていない状況にあつて、全国から物資や義援金の提供など、支援の輪が広がっています。

そのような中、長浜市連合自治会では、震災直後から各自治会を通じて義援金を募り、4月

18日現在、約3千5百万円の義援金が集まつており、また多くの企業や各種団体、市民の皆さんからは、約1億8千万円もの義援金も寄せられています。その他、小中学校では生徒会を中心として義援金を募り、少年野球連盟では被災地に送るための野球道具の提供を呼びかけています。また長浜ライオンズクラブ、木之本ライオンズクラブ、長浜青年会議所、市議会議員有志等では救済物資を募集し、被

災地への搬送を行っています。さらにNPO法人「あした塾」は避難所でたこ焼きや焼きそばを振舞いました。このように長浜市内の各種団体によつて既に様々な支援が行われています。今回は、被災地復興や被災者の皆さんの生活支援のために、市民の皆さんが取り組みられている心温まる取り組みの一部を紹介したいと思います。

が行われています。同じ日本に住む者として、また、この地震で被害に遭わなかった者として、私たちは何ができるのでしょうか。どんなに小さなことでも被災地の人たちの役に立てることや被災地の人に元氣になつていただけることがきっと何かあるはず。今、私たち一人ひとりができることを改めて考え、みんなが「心」をひとつにして復興に向かつていきましょう。

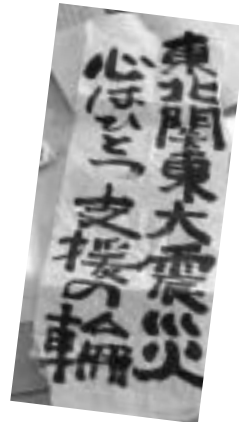
被災地の子どもに絵本を届けます

ウッディパル余呉では被災地に絵本を届けようと、現在、絵本や児童書を集められています。この活動は名古屋を中心に展開されており、関西圏では初の取り組みです。ウッディパル余呉の職員の前川さんは、「本だけでなく、皆さんの思いも一緒にいただいでいて本当にうれしい。皆さんの思いを被災地に届けたい。」と話されていました。

なお、提供いただく本は「新品でないもの」、「ボロボロでないもの」「なるべく和むもの」をお願いします。送料は送り主の負担となります。送付先：長浜市余呉町中之郷260番地 ウッディパル余呉まで



たくさんの本と添えられていた温かいメッセージ



巨大こいのぼり「がんばれ東北」

高月町雨森では、被災者を励まそうと「がんばれ東北」のメッセージを書き込んだ、全長50m、幅9mの巨大こいのぼりを製作し、毎年、5月3日に高時川河川敷で催される「こいのぼりまつり」でクレーン車を使って大空を泳がせ、遠く被災地へエールを送られる予定です。

皆さん、ぜひ5月3日に大空を泳ぐメッセージ入り巨大こいのぼりをご覧ください。



新鮮なネギに気持ちを込めて

小谷丁野町の脇坂良平さんは、福島第一原発の事故で野菜が出荷停止になった被災地へ九条ネギを送ろうと、地域住民の皆さんとともに九条ネギを収穫されました。収穫された九条ネギは、近江米や自家製みそとともに脇坂さんと地域住民の被災地への気持ちを込めて、トラック2台で、福島県と宮城県の被災地へ届けられました。



市民の皆さんからの心のこもった贈り物

3月31日まで募集していた被災地への物資募集では、多くの市民の皆さんから680箱もの物資の提供をいただきました。赤十字奉仕団の皆さんに仕分け作業をお手伝いいただき、水を4月15日に福島県いわき市内の特別養護老人ホーム等福祉施設10か所と、宮城県気仙沼市社会福祉協議会へ直接搬送し、その他の物資は、4月29日に福島県へ搬送しました。ご提供くださった皆さん、ありがとうございました。



公共機関の主な支援

救助（湖北地域消防本部）
滋賀県緊急消防援助隊として、3月11日（金）から4月1日（金）までの間、福島県を中心に人命救助や捜索を実施しました。

給水活動
（長浜水道企業団・市上下水道課）
日本水道協会の要請を受け、宮城県石巻市・栗原市で給水活動を行いました。



医療（市立長浜病院・湖北病院）
3月26日（土）から医師、看護師等の職員を福島県会津若松市へ派遣しました。また、被災地患者、透析患者（10人）、小児患者（3人）、高齢者等介護療養者（5人）、その他疾患患者（12人）の受入れ態勢を整えました。

市営住宅の提供（市建築住宅課）
住宅が被災し使用できなくなった人などに、市営住宅を5戸準備し、現在、4世帯が入居されています。



敦賀原発に申し入れしました

福島原発事故を受け、4月22日（金）に長浜、高島、米原の3市長が原子力事業者（日本原子力発電㈱、(独)日本原子力研究開発機構、関西電力㈱）に對し、施設の安全確保対策や監視体制の強化、積極的な情報提供などについて申し入れを行いました。さらに、施設の安全対策について敦賀発電所の現地確認を行いました。

